

山崎 聰 先生 選 【俳句の部】

【大賞】

黒々と 大黒柱 冬の雷

愛知県

田中 絢子

【秀作】

晴の雷 娘に柘植らるる 受胎かな  
夜の雷 ゆらりと絵画 砂を吐く  
ふんわりと 布団に居たり 春の雷

茨城県  
千葉県  
埼玉県

荻部 貞子  
川嶋 悦子  
縣 康子

【佳作】

ひとときは 景に加わる 冬の雷  
月山の 貌を崩して 冬の雷  
寒雷や むかし廓の 細き路地  
鳥海の 雲より出でし 雷一つ  
猫の耳 ぴくりぴくりと 寒の雷

東京都  
山形県  
山形県  
山形県  
山形県

古谷 あやを  
高橋 善昭  
佐藤 栄美  
菊地 徳太郎  
姉崎 昭

阿部 月山子 先生 選 【俳句の部】

【大賞】

月山の 雨引き連れて はたた神

山形県

神林 久子

【秀作】

天と地を 一糸でつなぐ 稲光  
寒雷の 五重の塔を 揺るがしぬ  
春雷や 彩があふれて 最上川

山形県  
山形県  
山形県

大澤 英幸  
斎藤 耕次郎  
佐藤 幸寿

【佳作】

鯽起し 番屋の板戸 砂を噛む  
雪起し とどろく中を 母逝けり  
コーヒーの 豆挽きをれば 冬の雷  
白山に もんどりうって 冬の雷  
海坂を なべて映せり はたた神

山形県  
山形県  
山形県  
山形県  
山形県  
千葉県

菅原 文夫  
栗原 愛子  
武田 志摩子  
笹次 和子  
飛田 正勝

【選外参考作品】

払暁の 雷一闪や 城下町  
遠雷に 手元を急ぐ 鍬仕事  
雪起し 闇の深まる 月の山  
鱈の背の 雷模様 北の国  
江沼野を 虫出しの雷 つづけさま  
胎児にも 聞こえそうなり 冬の雷  
雷の 止みて語り部 口ひらき

山形県  
山形県  
山形県  
山形県  
山形県  
石川県  
石川県  
山形県

佐藤 守  
菅原 角一  
工藤 竹治  
舟越 とみ子  
笹次 和子  
松田 富美枝  
佐藤 峯子

雷害リスク低減コンソーシアム 選 【俳句の部】

【雷害リスク低減コンソーシアム賞】

天と地を 一矢でつなぐ 稲光

山形県

大澤 英幸

坂野 冬眠 先生 選【川柳の部】

【大賞】

雷を 神の天使と 聞きわける

山形県

黒澤 貞次郎

【秀作】

雷を 落としてひと日 父になる  
厳しさと やさしい母の 避雷針  
春雷と なら友だちに なってやる

福島県  
山形県  
鳥取県

安良 紀男  
佐藤 千鶴  
門脇 かずお

【佳作】

雷と 仲良くしよう 米うまい  
遠雷が いくさの音に なる不安  
ゴロピカリ 冬の夜空で コンサート  
雷が どどどっと冬を 産み落とす  
遠雷と なった頑固な 父の背な

山形県  
秋田県  
山形県  
山形県  
山形県

和田 きみ子  
小棚木 松静  
井上 輝男  
富塚 光菊  
高橋 葉月

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

温暖化 雷様も 道迷う

山形県

佐久間 ルミ

【秀作】

避雷針 立てて上司の 部屋へ入り  
雷を 落とす親父が いて平和  
雷が へそのピアスを狙ってる

富山県  
秋田県  
広島県

高桑 徳郎  
細田 陽炎  
掛江 一弘

【佳作】

雷を 落とせぬ親を 子になじり  
雷神が 降りて恵みの 慈雨となる  
稲妻を 胸に刹那を 生きている

山形県  
山形県  
愛知県

中川 晴海  
新野 三拍子  
田中 絢子

【特別賞(四季賞)】

春雷に 北の大地が 目を覚ます  
雷に クモの子散らす 夏の浜  
農繁期 一服せよと 雷雨来る  
雷を 背にして急ぐ 冬困い

山形県  
山形県  
岩手県  
山形県

鈴木 異呂目  
手塚 玲子  
若柳 勘三  
阿部 義明

【選外参考作品】

ゴロピカリ 冬の夜空で コンサート  
雷の 光を学ぶ 豆学者  
雷の 続きにあった 青い空  
雷様の おはじき遊び 雪俵  
父の座が 錆びて雷 遠くなる

山形県  
山形県  
滋賀県  
山形県  
青森県

井上 輝男  
佐藤 林三  
北原 宏一朗  
菊地 徳太郎  
高橋 紅雨

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【雷害リスク低減コンソーシアム賞】

雷鳴も 遠きあいだは 風情あり

大阪府

宮崎 英明

畠山 弘 先生 選【俳句の部】

【大賞】

春雷を 重ねるごとに 大人びて

宮城県

菅原 洋子

【秀作】

日雷 すったもんだの 会閉ずる

茨城県

堀口 富男

左遷地の 窓やしきりに 稲光

佐賀県

原 俊一郎

飛驒のあと 美濃も一撃 雪起し

愛知県

緑川 美木夫

【佳作】

雷を いつから好きに なったのか

東京都

飯井 純子

梅雨の雷 頬を重ねに くる子かな

兵庫県

川久保 麻美子

鯉起し 流人の島の たらひ舟

山形県

小野 昇

カンバスの 若き自画像 稲光

千葉県

小林 正寿

妻とゐて 妻との距離や 春の雷

千葉県

佐藤 茂三郎

神林 久子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

稲妻に みごもる出羽の 米どころ

山形県

高橋 権三郎

【秀作】

地団駄の 子をだまらせし 寒の雷

山形県

堀田 三重子

月山の 耳そばだてる 冬の雷

山形県

斎藤 涼

春の雷 修験の山を 揺り起す

山形県

佐藤 栄美

【佳作】

真夜中の 音が身を刺す 冬の雷

山形県

加藤 幸子

雪起し 太郎の山を 揺らしけり

山形県

菅原 文夫

マニキュアを 塗り粗ねたり 冬の雷

山形県

陶山 芳子

一閃に 天地つなぎし 稲光り

山形県

三浦 茂子

冬の雷 一瀉千里に 羽前羽後

山形県

阿部 カチ子

遠藤 みゆき 先生 選【川柳の部】

【大賞】

雷鳴は 強く生きると 天の檄

山形県

金田 幸運児

【秀作】

マイナスと プラスが愛し 雪起こし

福岡県

谷川 三郎

あの時の 雷父の 愛だろう

山形県

高橋 葉月

はたはたが 来るぞ雷 鳴り響く

秋田県

佐藤 泉花

【佳作】

稲妻に 心の壁を 覗かれる  
 雷で 亡き父しのぶ オレも父  
 耐震の 強度気にして イナビカリ  
 雷も 日課と思う 里に住み  
 雷が 早く帰れと 子を叱る

千葉県 京増 京介  
 奈良県 森 一男  
 埼玉県 山崎 秀雄  
 山形県 山田 金弥  
 北海道 渡辺 雅司

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

落雷の おわびへ虹の 置きみやげ

静岡県 堀内 しのぶ

【秀作】

クレヨン画 母を雷 様にする  
 長男の 僕がいつでも 避雷針  
 雷で 町起こしする ゆとり好き

三重県 松田 順久  
 京都府 川崎 康介  
 新潟県 小川 信子

【佳作】

カミナリで 夫婦げんかも どこへやら  
 偽装ビル これもあやしい 避雷針  
 雷鳴を 怖がるよきの 妻がいい  
 地震雷 親爺はとうに 抜けている  
 雷を 落せぬ父の 丸い背な

大阪府 田中 良吉  
 徳島県 片山 康雄  
 大阪府 渡辺 貞一朗  
 千葉県 京増 京介  
 福島県 安良 紀男

雷害リスク低減コンソーシアム 選【俳句の部】

【特別賞】

海坂藩 韋駄天走り 寒の雷

山形県 佐藤 栄美

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【特別賞】

雷と 聞いて浮かんだ 鬼上司

東京都 速水 清孝

畠山 弘 先生 選【俳句の部】

【特選】

父となる 覚束なさに 春の雷

神奈川県

河西 俊一郎

【秀作】

一喝の 禪僧の如 雷去りぬ

沖繩県

今岡 久代

火除戸を 叩く寒雷 城下町

山形県

今野 勘左工門

春雷の 去りて発車の 縄電車

岡山県

岸野 洋介

【佳作】

雷の ような少年 ラガーかな

千葉県

団野 英二

奥能登へ 一輛急ぐ 鯰起し

石川県

瀬川 いく雄

寒雷や 母屋にたぎり 立つ産湯

山梨県

古屋 レイ子

海鳴りは 父のふところ 鯰起し

山形県

原田 れい子

春雷や 鉄もつ手の ほの白さ

広島県

甲斐 道人

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【特選】

世のために ぼくもなりたい 避雷針

神奈川県

鈴木 正実

【秀作】

かくすのは 昔はおへそ 今パソコン

東京都

藤川 弥生

時々は おとして欲しい パパ雷

愛媛県

菊池 幸恵

雷に 打たれたような 巡り会い

福岡県

平井 志保

【佳作】

たとえれば パパは霧雨 ママ雷雨

神奈川県

星野 利佳

百雷に 打たれ一人 前になり

岡山県

岸野 洋介

雷が 縁でふたりの 今がある

茨城県

薄木 博夫

国宝に なんと不粋な 避雷針

石川県

瀬川 いく雄

雷も へそ出しルックにゃ あきれ果て

大阪府

沖胡 博雅

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【特選】

春雷の こだま農魂 ゆり起こす

山形県

新野 三拍子

【秀作】

遠雷に 妻子を偲ぶ 左遷の地

岡山県

岸野 洋介

川の字を 雷さんが 1にする

埼玉県

佐川 二郎

雷か 妻のいびきか 夢うつつ

東京都

緑川 美和子

【佳作】

様変り	地震雷	キレル子等	山形県	鶴見	文女
雷神の	虎パンさえも	輸入品	新潟県	佐々木	徳蔵
雷鳴を	敵機の攻めと	目覚む歳	愛知県	山本	四雄
雷を	怖れ会話の	うそまこと	兵庫県	中本	義信
雷神の	遊びし跡か	俵雪	山形県	齋野	洋
雷雨でも	日柄がいいねと	いう拳式	神奈川県	奥田	綾子
自信あり	雷親父が	こなす家事	東京都	今井	東彦

畠山 弘 先生 選【俳句の部】

【大賞】

入院の 夜の稲妻 吉として

東京都

石塚 洋子

【秀作】

稲妻も 書き込む土間の 農暦

茨城県

飯吉 君子

遠雷や 街に見かけし 旧師の背

石川県

前川 久宜

北窓に 北の稲妻 稿を継ぐ

奈良県

杉田 菜穂

【佳作】

生まれ直ぐ 雷鳴に会う 我が子かな

大阪府

樋口 貞江

遠雷や 君にあいたく なりし午後

兵庫県

西沢 喜文

雷光を 沖に空手の 寒稽古

山形県

佐藤 栄美

子離れの 時をせかしぬ 春の雷

兵庫県

鈴木 清恵

雷兆す 実験室の 午後6時

奈良県

杉田 菜穂

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

このごろの 雷へソより 家電好き

東京都

織山 颯子

【秀作】

雷が 止んでだだちやの 種を蒔く

新潟県

川合 笑迷

雷鳴にシイタケ菌が 目を覚まし

三重県

小林 秀夫

雷に 蜘蛛の子散らす 運動場

神奈川県

浦上 昌季

【佳作】

雷も 慣れて地域の 輪に入る

群馬県

金井 健治

雷光を こやしに育つ 県産米

山形県

飛田 文子

雷神が 屏風で躍る 夏の寺

神奈川県

武本 宏一

雷も 地域によって 格差みせ

岡山県

佐藤 くにお

雷を 落としてみれば 返り討ち

香川県

中山 善博

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

遠雷を 合図にそっと 指つなぐ

愛知県

早川 矢寿子

【秀作】

稲びかり 妻の横顔 サスペンス

滋賀県

森田 幸磨

一周忌 雷の音 父の声

新潟県

平井 音子

稲妻に 今年の米の 出来を聞き

山口県

西元 満晴

【佳作】

おお来たか 老いて雷 孫を抱き  
年金へ 怒る雷 鳴り止まず  
子育ては 時には愛の 雷も  
雷で 知った光速 音速を  
出る杭は いつも雷雨の 中に立つ  
雷も 取れぬメタボの へこみ臍

山形県	菅原 角一
福島県	宇野 邦久
大阪府	西滝 一彦
千葉県	相原 秀哉
東京都	本田 いづみ
神奈川県	藤井 学



黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

雷一閃 雪降る町の かがやける

山形県

佐藤 守

【秀作】

落雷を 千年避けて 阿弥陀堂

神奈川県

阿部 浩

雷鳴の 遠のいてゆく 死後の処置

宮城県

佐々木 武

生れ来て 幾たび吾れに 稲光

鳥取県

石賀 太

【佳作】

雷や 少年後 向きに泣く

香川県

清水 星凜

音もなき 稲妻の矢に 励まされ

千葉県

江森 葉子

春雷を ふるさに聞く 安堵感

新潟県

阿部 昌彦

出羽三山 雪かみなりの 訝かな

山形県

斎藤 勉

地響きの 如く到来 雪雷

岐阜県

小鳥 政人

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

雷を 落してやろか 永田町

千葉県

鴨志田 淳一

【秀作】

雷を やっつけに行く 三輪車

鳥取県

澤田 はじめ

雷を 父の愛だと 悟る歳

熊本県

有田 知樹

ゴルフ馬鹿 少し休めと 雷鳴りさん

神奈川県

岡部 晋一

【佳作】

政治家に 雷落とす 投票日

山形県

山本 順一

雷が 徳利を増やす 縄のれん

和歌山県

清水 俊広

庄内っ子 雷さんも 子守り歌

福岡県

真次 はじめ

遠雷に 空爆の夜 語る母

大分県

坂本 洋一

雷に 泣いた私も もう大人

京都府

山岸 裕析

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

政治家に 雷落とす 投票日

山形県

山本 順一

【秀作】

雷を ひとつもおとせぬ 失業中

埼玉県

川名 好之

雷鳴は 庄内米の 子守歌

山形県

高橋 和子

雷を 父の愛だと 悟る歳

熊本県

有田 知樹

【佳作】

かみなりの 夜だけ母を ひとりじめ  
遠雷に 空爆の夜 語る母  
雷鳥も 北へ飛びたい 温暖化  
支持率の グラフが今日も 稲光  
雷鳴よ 彼のサヨナラ かき消して  
米発の 雷鳴ひびく 兜町

愛知県	井上 真弓
大分県	坂本 洋一
山形県	茨木 芳士
大阪府	井内 雅仁
京都府	谷 ゆかり
愛知県	深海 和人

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

停電と 僕と家族と 稲光

三重県

森下 雄太

【秀作】

釘一本 つかはぬ枢 はたた神

東京都

曾根 新五郎

遠雷に つまづくほどに 老いている

神奈川県

北村 純一

田畑の 息吹きかえす 雷雨かな

東京都

権守 いくを

【佳作】

雷様(らいさま)の 白金の跡 風涼し

栃木県

酒井 早苗

こわいけど なんかきれいだ いなづまは

山形県

すずき いちご

落雷や 一本杉の 潔し

宮城県

松山 智美

雪が降り 雷も降る 地に生きる

神奈川県

阿部 浩

劇雷の 港を船は 漁に出づ

岩手県

沢内 健志

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

停電中 「これ節約？」と 子に聞かれ

愛知県

長谷川 知子

【秀作】

午前様 ケーキが妻への 避雷針

栃木県

浜田 あゆ美

稲妻に 主役をゆずる 夏火花

福島県

高橋 正義

雷が 夫婦喧嘩の 鞘納め

石川県

南出 恵美子

【佳作】

落雷の 気配感じる 朝帰り

千葉県

梶 政幸

雷鳴に 娘が隠す へそピアス

千葉県

小林 功

官僚は 雷真似て 天下り

神奈川県

福島 敏朗

雷で 入力データ 泡と消え

東京都

久保 紀子

孫にだけ 雷落ちぬ 七不思議

富山県

加藤 信子

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

かみなりは 出羽三山の 子守唄

山形県

斎藤 勉

【秀作】

親父より ジワジワ嫁の 静電気

佐賀県

大塚 千晶

不和雷同 政治家さんの 得意技

千葉県

高橋 慎一

唐がらし 食べて口から 稲光

東京都

土生 洋子

【佳作】

ゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロ

雷様は 寿命一瞬 わしや米寿

ピカッとゴロツ 焦らし上手な あの数秒

へソじゃなく 脂肪も取ってと 雷に

稲光 彼に抱きつく 時謀る

大阪府

山形県

神奈川県

埼玉県

埼玉県

村上 真一

松田 哲美

清水 努

中村 信夫

松永 誠

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

稲光 ざくりと街を 縫い合わせ

茨城県

五十嵐 裕治

【秀作】

雷が 収まるまでの 淡い恋

茨城県

大槻 けい

遠雷や 泥染めの黒 深々と

山形県

酒井 浩平

さまよえる 見知らぬ町や 雷時雨(らいしぐれ)

石川県

神馬 せつを

【佳作】

春雷を 温かく聞く 回復期

山口県

竹重 登美子

いかづちや 即身仏の 後ろより

山形県

登坂 洋子

次に来る 雷を待つ 腕まくら

滋賀県

井田 寿一

稲妻に 耳をふさいで じっと待つ

埼玉県

野口 陽子

雪起し 古き官舎の 二重窓

大阪府

木本 康雄

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

東京に 大避雷針 またひとつ

福島県

二瓶 博美

【秀作】

へそじゃなく PCデータ 持ってかれ

千葉県

三宅 純子

初孫に 雷親父 金落とす

神奈川県

改発 利佳

ラジオから ノイズ雷 注意報

愛媛県

岡 豪

【佳作】

定年で カミナリ親父 ゴロゴロし

大阪府

北川 賢二

はたた神 去りて夫婦の 飲み直し

山形県

斎藤 耕次郎

残業も 落雷の音で ログオフし

埼玉県

栗原 昇

新妻が 年月を経て 稲妻に

東京都

中川 義一

雷は 映像作家で 音楽家

神奈川県

橋本 清

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

新タワー 日本一の 避雷針

千葉県

叶 昌彦

【秀作】

雷に 授業脱線 理科教師

静岡県

山下 奈美

新妻も 10年経てば 稲妻に

埼玉県

関森 俊克

最近は 雷オヤジも エコ仕様

長崎県

高島 和恵

【佳作】

稲妻に 節電叫べど 効果なし	東京都	本間 哲
虹二輪 雷シヨ一の 幕を引き	富山県	平田 清作
臍出し娘(こ) 多すぎ雷 選びかね	香川県	玉井 一郎
落雷が 恋し懐かし 七回忌	千葉県	梶 政幸
父ゴロリ 日曜の朝 母ピカリ	静岡県	田中 華子

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

寒雷や 善人ころぶ 坂の町

埼玉県

鈴木 良二

【秀作】

天の声 荒ぶる雷の 如くなり

山形県

小野木 文子

雷の 怒りに凍てる 夜一人

鹿児島県

川間 佳俊

ふる里の 路地が見えるよ 稲光

愛知県

大江 豊

【佳作】

駅を出る 一人一人に 稲妻す

神奈川県

印南 房吉

雷鳴や 胸に飛び込む 人も無し

兵庫県

岸野 孝彦

雷神の 乗り忘れたる 雲切れる

埼玉県

山崎 秀雄

稲妻の 支離滅裂の 美しさ

東京都

加和崎 漢

遠雷に 想いの往き来 する夜明け

静岡県

山下 奈美

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

日本に 強く生きろと 稲光

神奈川県

吉川 弘子

【秀作】

避雷より エコで切ってる 主電源

兵庫県

足立 有希

カミナリに 一步も引かぬ 反抗期

千葉県

梶 政幸

雷鳴に 茶の間集まり 増す絆

三重県

湯浅 勝史

【佳作】

雷を 又落としてよ 空の父

埼玉県

松川 涙紅

落雷で 無断節電 実施され

富山県

上田 奈央

雷が 生きろと鳴らす 大太鼓

兵庫県

松下 弘美

尻尾さえ 付ければ電気に 化けるのに

滋賀県

池内 和世

カミナリも データを狙う IT化

東京都

長峯 福太郎

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

東北の 鎮魂遠雷 音やさし

山口県

竹重 満夫

【秀作】

農業を 始め雷雨は 友になり

東京都

田崎 信

雷に 除染は要らぬ 去れば虹

兵庫県

岡本 千寿

新講座 「パパの雷 落とし方」

愛知県

石原 ゆみ子

【佳作】

墓洗う 雷おやじ 恋しくて  
落ちるなど 雷拝む 受験生  
古希ふたり 夜陰の雷光に しがみつぎ  
ほめ言葉? 君は我が課の 避雷神  
雷を 落とせば教師 吊し上げ

山形県  
千葉県  
静岡県  
大阪府  
青森県

鈴木 異呂目  
吉井 省一  
湯浅 弘  
堀田 欽一  
吉田 保雄



黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

復興の 小屋打ち叩く 雷雨かな

東京都

中村 宏汀

【秀作】

稲妻や 臨終の髪 なでし夜  
寒雷や 雪のふるまち 鶴岡市

静岡県  
宮城県

伊東 静雄  
西澤 勝

【佳作】

雷の 多き街へと 君帰る  
いなびかり ふいにひとりとおもひけり  
雷は 神鳴りとして ありがたく

兵庫県  
大阪府  
島根県

岸野 孝彦  
橋本 薫  
盛田 みち子

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

落雷に スマート都市は 弱音吐く

山形県

加藤 正子

【秀作】

稲妻の つや姫睦み よく実のり  
寄らないで！ 大樹の陰に 側撃雷

山形県  
京都府

菅原 道成  
福井 敦男

【佳作】

雷光が 瓦礫の山を 照らしてる  
地に落ちし 親父の権威と 雷と  
冬稲妻 見とれてこけた 雪の道

宮城県  
大阪府  
山形県

昆野 克恵  
木村 達雄  
大瀧 伸吾

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

雷と 呼ばれた父を 介護する

宮城県

水戸 二七

【秀作】

はたた神 一筆虹を 描き去る  
ミーティング 一発雷の 後の闇

愛知県  
福岡県

向田 真智子  
野口 和夫

【佳作】

落ちどころ 知るは神なり(カミナリ) 運(雲)しだい  
海雷が 復興の闇 照らしてる  
稲光 浴びてつや姫 豊穰祭

東京都  
岩手県  
東京都

田中 勝  
木村 徹  
重原 侘助

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

親殺し 子殺しを撃て はたした神

新潟県

漆間 祥庭

【秀作】

雷鳴や 辞令一通 海の街  
稲妻や 被災地の田は 草に満つ

山形県  
福島県

清野 佐知子  
水上 悦子

【佳作】

寒雷や 微動だにせぬ 檻の虎  
鶴岡や 光る白鳥 いなつるび  
病むことも 生きてる証 冬の雷

東京都  
宮城県  
東京都

長峯 雄平  
西澤 勝  
石川 昇

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

春雷が 散らす桜と 酔い気分

岐阜県

細江 美幸

【秀作】

朝帰り 雷様の おもてなし  
雷が 土下座の頭上 通りすぎ

京都府  
徳島県

小見 信雄  
大釜 洋志

【佳作】

学校に カミナリ無くした モンスター  
カミナリが 千年猛暑に 虹を呼ぶ  
雷は 寄らば大樹が 仇となり

三重県  
神奈川県  
埼玉県

松田 清司  
小菅 一郎  
中野 弘樹

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

カミナリは リズム音痴だ ずれる音

静岡県

山口 平一郎

【秀作】

雷は 瞬間芸で 飯を食い  
雷鳴に 天神来たと 受験塾

神奈川県  
千葉県

佐藤 静生  
渡会 克男

【佳作】

大雷鳴 抱きつくチャンス 今でしょ  
停電の 夜は雷 観るもよし  
雷を 落として見つけた 俺の位置

新潟県  
島根県  
神奈川県

阿部 まさひこ  
山藤 一雄  
川村 均

【選外参考作品】

地震 雷 核有事

神奈川県

上田 文一

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

はじめての 遠雷赤子の 思案顔

東京都

竹中 恵子

【秀作】

一瞬に 山生き返る 夜の雷  
日雷 犬と老人 立ち止まる

宮崎県  
埼玉県

近藤 國法  
鈴木 良二

【佳作】

隅っこの 我さえ照らす 稲光  
犬逝きて そこが空白 春の雷  
春雷や 夢に来し人 見失ふ

熊本県  
兵庫県  
香川県

舛田 美子  
西田 敏之  
田岡 弘

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

妻が言う 自身カミナリ 家事オヤジ

北海道

工藤 律夫

【秀作】

春雷は 門出を祝う 花火かな  
雷鳴が 恋の筋書き 書きかえる

神奈川県  
石川県

岡田 弘子  
藤村 容子

【佳作】

雷鳴も 聞こえぬ女子会 50代  
稲光 スマホ片手に 撮影会  
宇宙人 地球撮るのに 稲光

京都府  
茨城県  
神奈川県

岸野 由夏里  
藤井 きい子  
生悦住 正志

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

雷鳴だ だめよだめだめ 木の下は

東京都

西山 昌夫

【秀作】

雷を 落としたいけど 空気よむ  
つや姫も 頭を垂れる 稲の殿

京都府  
愛知県

前田 守康  
志村 紀昭

【佳作】

オレオレに 雷落とす お婆ちゃん  
天と地を 引き裂き結ぶ 龍の舞  
究極の マゾヒストだね 避雷針

千葉県  
北海道  
東京都

梶 政幸  
橋本 明子  
荒木 光弘

【選外参考作品】

稲光り ほどほど欲しい 米価格  
暁に 雷雨止みて 産の声  
雷に 寄らば大樹は 命とり  
雷が 雲ふみはずし 秋の幸

千葉県  
埼玉県  
長野県  
山形県

京増 京介  
吉村 憲彦  
後藤 幸雄  
田中 實

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

落雷の 火柱立ちし 羽黒山

東京都

佐野 由紀子

【秀作】

ころがしておく 赤んぼも 雷も

愛媛県

半木 るん

雷光や 遠くシリアの 空想ふ

神奈川県

久保田 聡

【佳作】

雷や 少し哀しい 父の杖

愛媛県

岡村 理江

雷の夜 しづかに別れ 決めてをり

埼玉県

新海 あぐり

遠雷や 牧舎に戻す 子連れ馬

北海道

江田 三峰

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

抱きしめる 次光ったら 抱きしめる

広島県

金廣 光枝

【秀作】

稲妻級 育児に仕事 母は神なり

埼玉県

梅本 聖枝

稲光り 蔵を照らして 美酒巡り

青森県

山田 十九子

【佳作】

雷も 平和を祈り 光るのみ

兵庫県

岸野 孝彦

宇宙から 見れば地球の オーラかな

大阪府

塚崎 てる子

雷鳴に ヘソよりパソコン 隠す子ら

神奈川県

林 陽子

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

天と地を 結ぶひとつの 光の矢

新潟県

佐藤 芽衣

【秀作】

テスト前 ゲームにゴロゴロ 母ドッカーン

山形県

五十嵐 幹仁

暗闇の 中に一匹 金の竜

USA

滝沢 奈津妃

【佳作】

火事の次 おやじの雷 まじこわい

鳥取県

渡辺 虎太郎

雷が 落ちるほこ先 いつもぼく

東京都

中村 治樹

ゴロゴロは 冬のしらせと じじは言う

山形県

五十嵐 堅進

第十二回(平成二十七年) 「雷」俳句・川柳コンテスト受賞作品集二

(敬称略)

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳特別テーマの部】

【大賞】

万雷の 拍手でかわす 祝い酒

神奈川県

井上 靖

【秀作】

盗み食い 母の雷 また落ちる  
看護師が 雷落とす 隠れ食い

福岡県  
大分県

富重 禎徳  
川野 誠

【佳作】

TPP 米から日本に 雷おこし  
二日酔い 胃に脳味噌に はたたがみ  
雷が 鳴る度だだちゃ 味を増す

北海道  
東京都  
新潟県

山本 樹  
土生 洋子  
川合 笑迷

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

背なの子の 足をびくりと 日雷

茨城県

飯吉 君子

【秀作】

耳に指 入れて待つなり 次の雷  
天を衝く孤高の龍や冬の雷

東京都  
兵庫県

渡邊 大智  
大塚 高史

【佳作】

イヤホンを はずす青年 稲光  
立ち給ふ 雷雨の中の 芭蕉句碑  
雷鳴に 背中押されて 父帰る

神奈川県  
山形県  
神奈川県

改発 利佳  
加藤 正子  
池田 功

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

雷を泣いて落とした恩師あり

岡山県

向原 康夫

【秀作】

守り抜く 父はわが家の 避雷針  
雷の 日だけ娘と 縮む距離

茨城県  
群馬県

海老原 順子  
今野 涼人

【佳作】

波渡岬 小波渡で栄えた 雷屋  
祖母の膝 四人の孫の 避雷針  
虹の橋 雷くれた プレゼント

山形県  
徳島県  
栃木県

吉住 寛  
檜本 一美  
村上 洋子

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

稲光 母が乙女に 戻る時

神奈川県

若松 沙弥

【秀作】

進まない 雷のせい 宿題が  
雷だ 何秒後かな 一・二・三

岐阜県  
東京都

斉藤 野の花  
西田 日向

【佳作】

おこられる ぼくは怒りの 避雷針  
かみなりは いろんないろで つよさわけ  
雷と母 どちらも態度が ゴロゴロ変わる

山形県  
山形県  
山形県

日向 彬仁  
富樫 和友  
今野 速斗

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

雷鳴に子へ駆け戻る母ゴリラ

茨城県

宮崎 江美

【秀作】

満天の星満つ宵の稲光

北海道

高橋 まりえ

旧友は寒雷のみの故郷かな

大阪府

足立 敏郎

【佳作】

雷様も 暫時休憩 山車舞台

大阪府

樋口 嘉一

フクシマのむき出し廃炉雷立ちぬ

宮城県

丸山 千代子

遠雷を聞いてひとりの夕餉かな

神奈川県

北村 純一

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

ヘッドホン 雷避けて 「嵐」聞く

大阪府

上野 利晴

【秀作】

いつの日か 辞書に載ります 蓄雷針

東京都

田中 勝

ぶり起しの雷を待つ氷見の浜

富山県

伊藤 のり子

【佳作】

雷神を忖度しつつ畑仕事

埼玉県

山崎 秀雄

老いてなお カミナリ健在 ひと安心

兵庫県

上垣 哲也

稲妻はインスタ映えと笑む娘

神奈川県

川村 玲子

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

うそつかれ 心の中で 落雷す

岐阜県

平林 莓花

【秀作】

勇氣出し 話したけれど 地雷ふむ

岐阜県

平林 莓花

ビリビリと おこる母の目 かみなり目

山形県

遠藤 駿

【佳作】

雷で ママがかくした 二段腹

山形県

石塚 大智

ゴロピカワン 犬とかみなり 大合唱

山形県

佐藤 夢那

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

雷鳴に おびえる夫を抱きしめる

兵庫県

亀田 恵美子

【秀作】

迅雷に パソコン閉ざす 夜の講座

神奈川県

合志 義文

稲妻や 岩場を攀(よ) づる 修験僧

大分県

小野 智輔

【佳作】

雷(らい) 千里 伏龍となる 黄河かな

長野県

吉澤 道夫

雪雷や 幾万の波 能登を打つ

滋賀県

井田 あさみ

稲妻や 子らコンビニの 中に入り

神奈川県

改発 利佳

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

定年後 雷やめて家事親父

埼玉県

横手 敏夫

【秀作】

雷を 宇宙から見る 近未来

静岡県

山下 修身

雨宿り 雷門は 多国籍

東京都

本田 しおん

【佳作】

午後3時 もくもくタイム 雲が湧く

埼玉県

中野 弘樹

ハロウィンに 紛れ込んでる はたた神

茨城県

海老原 順子

カミナリと 親父の距離は 遠くなり

鹿児島県

瀧川 憲洋

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

雷は 季節を変える 送信機

山形県

長谷川 蒼空

【秀作】

雷だ バット置き去り 雨にぬれ

山形県

長谷川 蒼空

かみなりの 音でシーンと なる家族

山形県

秋山 朋葉

【佳作】

僕の家 雷警報 継続中

山形県

松田 涼史

雷神と 風神たたかい 空光る

山形県

明賀 丈瑠

雷が なったものん気 家の中

山形県

佐藤 悠奈



第十六回(令和元年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

いかづちや光と闇の最上川

山形県

齋藤 真人

【秀作】

稲光り 一人田に在る 翁かな

新潟県

阿部 昌彦

手話の指激し雷雨の近づきぬ

愛知県

斉藤 浩美

【佳作】

稲妻に動ぜず歩む親子猿

奈良県

堀ノ内 和夫

落雷で妻の切りたる長電話

千葉県

林 雅則

天を斬る 銀の光刃 さらば梅雨

静岡県

安藤 英房

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

リチウムに 万雷の拍手 蓄える

神奈川県

改発 利佳

【秀作】

困(こま)ります！ 地震雷(じしんかみなり) ギャグ親父(おやじ)

雷に 白いタピオカ 電あられ

北海道

徳岡 治美

【佳作】

温暖化 雷落とした 女子高生

東京都

吉岡 敏郎

落雷や 数万ボルトの 天体ショー

千葉県

香取 義和

雷を知るAMのラジオから

愛知県

幅 茂

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

ほうぼうに 光る稲づま 根のごとく

山形県

佐藤 彦摩魯

【秀作】

おりてくる 稲づまに乗って 神様が

山形県

佐々木 杏

落雷の 歴史感じる 金ぼう山

山形県

難波 結菜

【佳作】

かくれんぼ 場所が分からず 稲光

茨城県

川本 樹

何本かな？ いなづまの線 観察だ

山口県

鈴木 禱馬

稲光 豊作願い 立つ祖父や

山形県

柿崎 日向

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

雷飲んで 大鯉深く 沈みけり

静岡県

野月 真人

【秀作】

一遍の 右足一步 寒の雷

神奈川県

河本 朋広

【佳作】

轟然と 庄内平野 渡る雷

千葉県

佐川 浩昭

湯殿山 稲妻のたび 仁王立ち

東京都

羽住 博之

雷や 大声になる 子守唄

島根県

寺津 豪佐

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳一般の部】

【大賞】

補聴器を つけて雷 しかと聞く

神奈川県

竹澤 聡

【秀作】

リモートの 上司のかみなり 画面消す

宮城県

高橋 洋子

コロナ禍は 一夜の雷雨 人類史

神奈川県

改発 利佳

【佳作】

球界に 稲妻走る 二刀流

大分県

坂本 洋一

地雷踏み 妻とはいつもの ディスタンス

大阪府

東 明彦

無観客 それでも雷鳴 かき鳴らし

東京都

札幌 靖人

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

落雷し 半狂乱の テレワーク

東京都

前岡 里奈

【秀作】

雷の 発生源は 通知表

東京都

前岡 里奈

北向くと 空にひび割れ 雷か

徳島県

高橋 聖花

【佳作】

みてみたい かみなりおとせる おとうさん

山形県

國分 心愛

雷は ゴロゴロしていると 落ちてくる

兵庫県

松下 朔久

怖いのは 音と光の 時間差だ

兵庫県

崎田 真羽

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

春雷や 遠き母ある 方を見る

愛媛県

カンちゃん

【秀作】

雪起こし 祖母は動じず 針仕事  
靴ひもを 結び直して 遠雷聴く

京都府  
東京都

野井 さくら  
森田 宏

【佳作】

雷が 鳴りて吹雪の 日本海  
火渡りの 女行者や 稲つるび  
真夜覚めて 寝付けぬ儘の 鯿起し

埼玉県  
大分県  
千葉県

泊雲  
小野 道山  
松田 なごみ

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳一般の部】

【大賞】

砲と雷 聞き分けている 戦渦の子

静岡県

増田 浩二

【秀作】

光ったね ああ光ったね 倦怠期  
刺が取れ 雷も尽き 好好爺

愛知県  
千葉県

井深 靖久  
小田中 準一

【佳作】

万雷の 拍手にブラボー かき消され  
妻の雷 補聴器外して 聞いてみる  
風神よ 雷神に言え やかましい!

神奈川県  
大阪府  
神奈川県

梅山 すみ江  
東 明彦  
鯨之

【選外佳作】

ほめ育て 雷親父は 立つ瀬なし  
うたたねの 生徒を起こす ご雷神  
マスクとり 稲妻走る その素顔

奈良県  
山形県  
埼玉県

中川 幸代  
高橋 直子  
いそのっぺ

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

母キレる 弟の笑顔 避雷針

山梨県

高村 知徳

【秀作】

かみなりで 家族集合 ホツとする  
せのびして サイダーのんだら イナズマはしる

山形県  
山形県

五十嵐 大智  
佐藤 悠成

【佳作】

稲光 手を照らす 闇ご飯  
真っ暗な 夜空に生きる 金のりゅう  
雷とダンゴムシの道 ジグザグ

茨城県  
山形県  
東京都

加古 るりな  
遠藤 有紗  
山本 愛奈

阿部 月山子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

稲光 闇に著る 金閣寺

福岡県

早川 忠之

【秀作】

冬の雷 沖を見詰める 漁師妻

東京都

石川 昇

遠雷や 島に赴任の カウセラ―

新潟県

春野 ぷりん

【佳作】

出羽三山 生まれかわりの 旅の雷

大分県

吉田 紫紅

継ぐ人の なき荒畑や 雷雨降る

千葉県

小田中 準一

純色(にびいろ)の 空を切り裂く 鯉起し

東京都

安田 功二

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳一般の部】

【大賞】

砲雷に 泣く吾子を抱く 母悲し

滋賀県

廣木 信子

【秀作】

虎皮の パンツも今は 紙おむつ

広島県

黒飛 義竹

誹謗やめ なくすネットの 地雷原

神奈川県

改発 利佳

【佳作】

雷と 風でお札の 100ドルに

愛媛県

さんごしょう

これも古い 雷おこし 歯が立たず

埼玉県

深澤 健

雷に 貸す耳持たぬ ゲームの子

千葉県

古い猫

【選外佳作】

AIも 雷落ちて 失神す

高知県

野中 泰佑

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

にらみ合い 電光石火 跳ぶ竹刀

群馬県

吉井 咲喜

【秀作】

指先で 感じる雷 静電気

埼玉県

沖田 典

停電し なぜか不思議で わくわくだ

山形県

菅原 和希

【佳作】

落雷だ 呪文を言うよ 授業中

山形県

齋藤 陽晴

雷神が あいさつに来た 積乱雲

山形県

藤田 都希